

兵庫県肝疾患専門医療機関

編集・発行 情報委員会
神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25
電話：(078) 612-5151
URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

愛と健康の

かけはし

2017年4月発行

No. 60



新入職員に贈ることば

院長 キム スリヤン
金守良

●2017年4月から、当院に就職された新入職員の皆さんに心から歓迎の挨拶を贈ります。

●私の独断と偏見かもしれませんが、およそ世の中の仕事の中で、医療の仕事ほどやりがいのある仕事はないと思っています。自らの技術が直接に患者の健康と地域の福祉に直結するからです。そのための不断の努力と研修が必要であることは言うまでもありません。

●新入職員の皆さんは、看護師、看護助手、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士、リハビリテーション技師、医療事務と職種は異なりますが、貴重な戦力として、各職場から期待が高まっています。勿論、即戦力になるためには、研修だけでなく、職場への適応能力も要求されます。

●一方、皆さんが活動を進めるにあたって、知っておくべき医療・福祉を取り巻く状況について2つの事柄を述べます。

●一つは、高齢化問題です。我々が仕事する日本社会は、歴史上、又世界的にも例をみない超高齢化社会に突入しています。厚生労働省の発表によれば、2015年の平均寿命は、男性が80.79歳(世界4位)、女性が87.05歳(世界2位)です。加えて“団塊の世代”(1949年生まれ)が後期高齢者となるいわゆる2025年問題も差し迫っています。この2025年問題の最大の一つは、認知症患者の急増です。同じ厚労省の試算によれば、認知症とその予備軍である軽度認知障害(MCI)を併せた数は、2025年には900万人、実に国民の9人に1人、65歳以上の3人に1人になるとされています。

●そうした状況を受け、厚労省は、長年住み慣れた地域で人生を全うできるよう、医療・福祉・保健をトータルに提供できる「地域包括ケアシステム」を整備しています。その流れの中で、当院も2016年より地域包括ケア病棟を開設し、円滑な運営に努力してきました。

●二つ目は、医療経済の問題です。2016年の医療界、医療機関にあって最大の関心事は、4月の診療報酬改定でした。予測された如く実質0.84%のマイナス改定でした。

●この15年間の診療報酬改定を振り返ってみると、自民党政権下の小泉内閣下で3度に渡って3%(通算9%)のマイナス改定があり、一旦、民主党政権下の極くわずかの2回のプラス改定(1回目0.2%、2回目0.004%)がありました。再び自民党政権下では2回のマイナス改定でした。2018年には、診療報酬と介護報酬の同時改定があり、現時点ではマイナス改定が予測されています。15年間で通算10%近くのマイナス改定は、2012年の消費税5%から8%への増税とも相まって、公的、民間を問わず、医療機関経営に恒常的なピンチ状態を強いています。

●しかし、こうしたピンチは別な言葉で言えば、医療団体、医療機関の真価と、①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する、②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない、とする憲法25条と国民皆保険制度の真価が試されることとなりました。

●医療・福祉を取り巻く状況を正確に把握しながら日常の医療活動に全力投球されることを心から期待し、ペンを置きたいと思います。

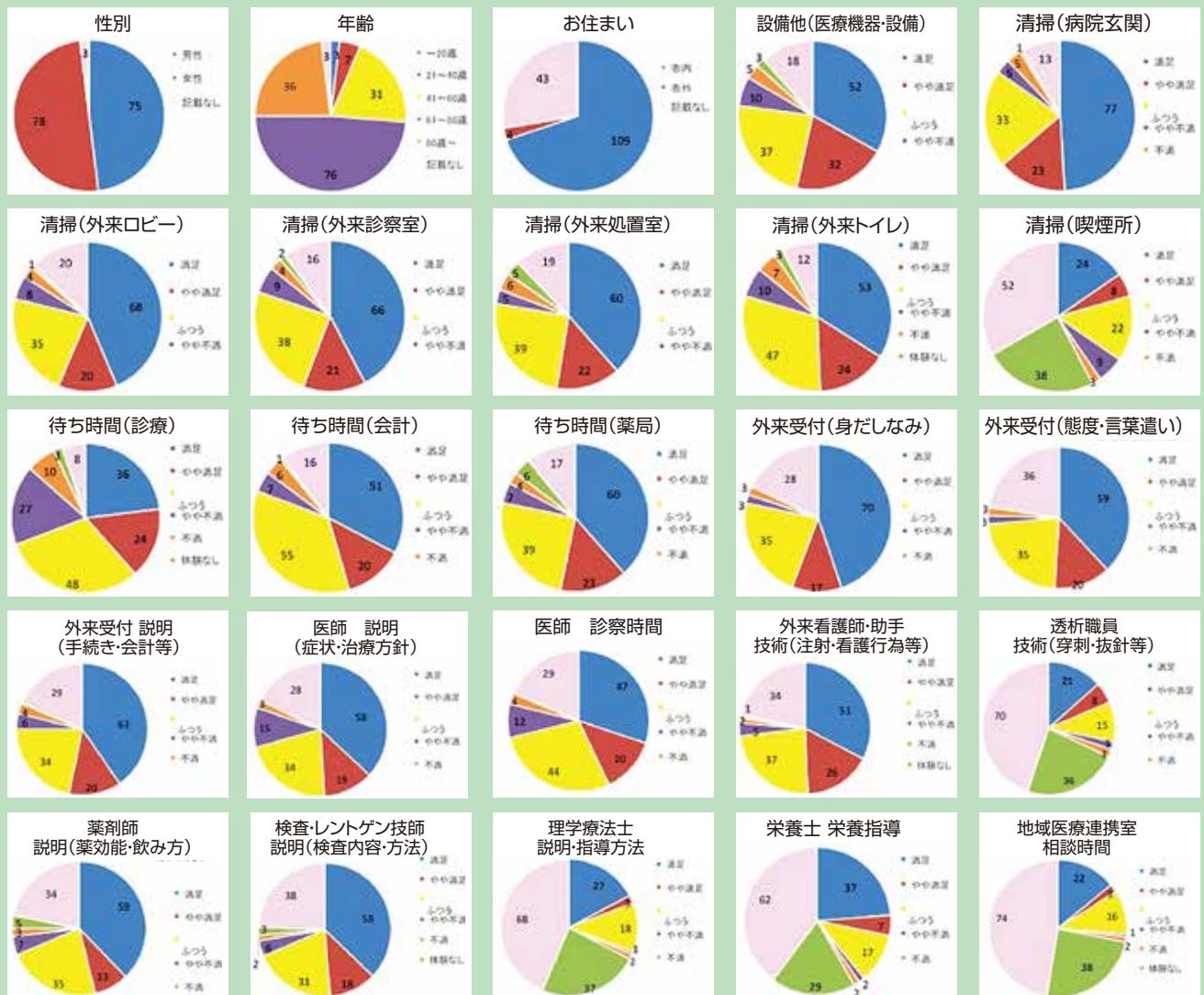


患者様満足度調査を実施しました

CS向上委員会

医療も“サービス業”と言われる昨今、当院では、利用される方が病院に対して、どのようなサービスを望まれ、どのように感じておられるのかを調査し、日々の業務に生かしていきたいと、昨年11月28日より12月3日の1週間、外来及びご入院中の患者様にアンケート調査を実施しました。皆様、ご自分で記入できない患者様にはスタッフが聞き取りをしながら、快くご協力いただきました。今回は、総じて、当院に対して好意的なご意見が多かったのですが、日々寄せられるご意見の中では厳しいご指摘を頂くこともあります。この結果を真摯に受け止め、今後の病院運営、スタッフ教育の参考とさせていただき、職員一丸となってサービスの向上に取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。以下、その結果(抜粋)をご報告いたします。

患者様満足度調査報告【外来】



当院を選んだ理由

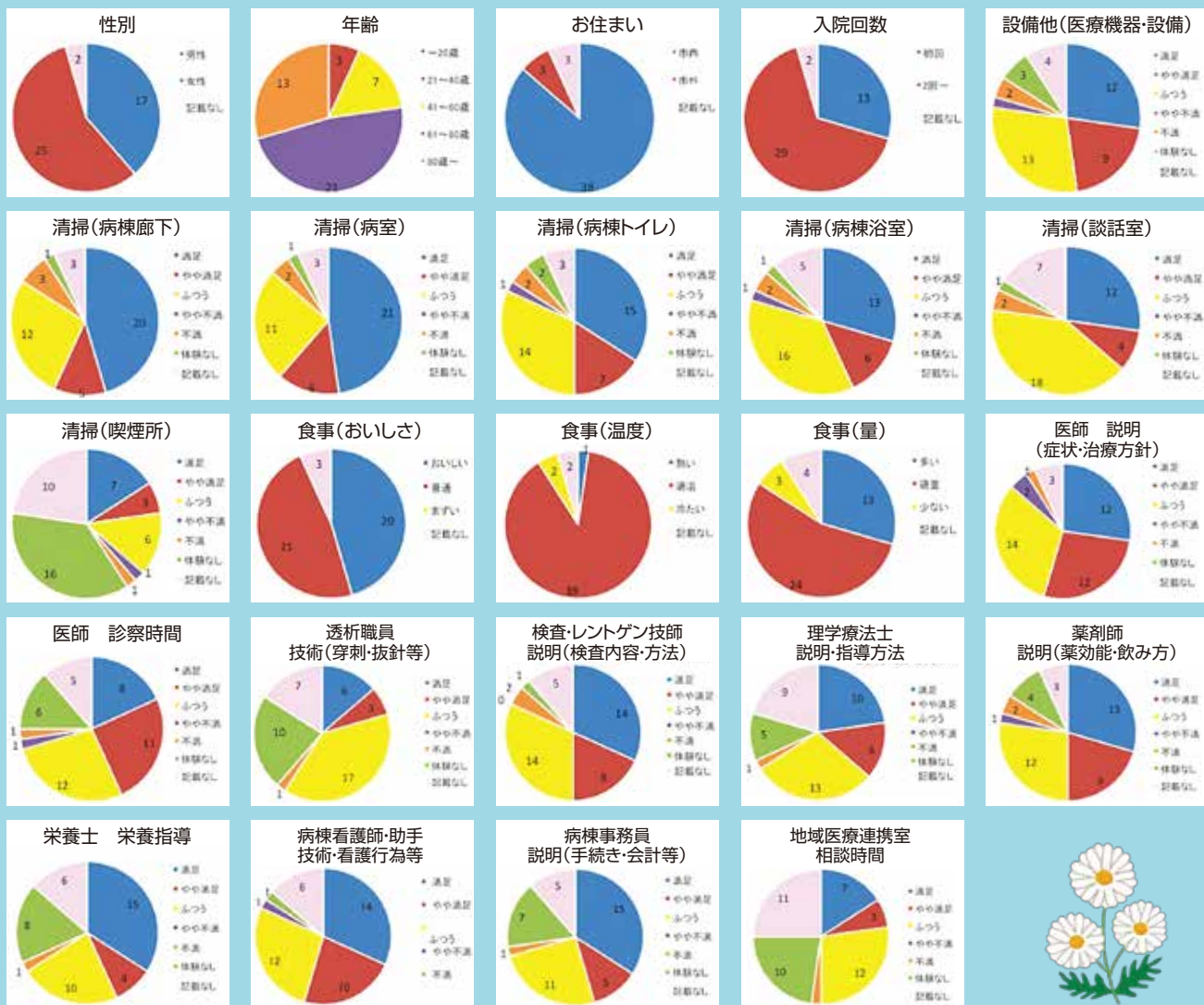
- 紹介 ● 救急車で運ばれた ● 利便性
- 高血圧が治ったから
- 評判(病院・医師) ● 親切
- かかりつけ ● ネットで選んだ(人間ドック)
- 肝臓病専門だから ● 夜間診があるから
- 自分に合う
- 検査設備が整っている

当院で良いと感じたところ

- 医師、職員が親切、気さく、優しい ● 清潔 ● 近くて便利
- 待ち時間があまりない ● 肝臓病・肝炎に力を入れている
- 診察・検査が早く、検査結果も早い ● 説明が分かりやすい
- 薬局が院内にある ● 設備が整っている ● いつでも検査してもらえる
- 地域医療に取り組んでいて相談しやすい
- 夕診があるので仕事終わりに来れる ● 大規模すぎずアットホーム
- 科が多いので1か所でみてもらえる
- 他院に断られても受け入れてくれる



患者様満足度調査報告【入院】



当院を選んだ理由

- 紹介 ● かかりつけ
- 利便性 ● 肝臓病専門だから
- 救急で来て入院になった
- 初診時に自分に合った病院だと思った

当院で良いと感じたところ

- 利便性 ● 当院しかかかったことがない
- 和やかさがある ● 看護体制が行き届いている
- 綺麗 ● 医師・看護師の適切な処置及び対応
- 食事が美味しい ● 職員が親切、優しい



健康いきいきサロンを開催しました

CS向上委員会

●3月17日の健康いきいきサロンでは、金院長補佐が「花粉症」についてお話ししました。2月上旬には、新聞等で今年の花粉症傾向が発表され、それによると、近畿地方における花粉飛散量は、昨年約3倍に達する見込みとのこと。“花粉症のメカニズム”“有効な薬”“暮らしの中で出来る対策”や“セルフケア”等について画像やイラストをまじえて分かりやすく説明。毎年この時期、花粉症に悩まされている人は多いので、入院、外来患者様はじめ、地域の方々のご参加くださり、熱心に耳を傾けておられました。

●4月21日の健康いきいきサロンは「認知症」について、金院長がお話しします。参加費無料、事前申込みも不要です。昨年8月より認知症サポート医として「物忘れ外来」の診察時間も増やし、認知症診療にも積極的に取り組んでいる金院長のお話を聞きに、是非、お気軽にご参加ください。



たけのこのサラダ寿司

栄養科主任 土遠 美紀子



材料 (2人分)

- 米: 1合
- 酢: 25cc
- 砂糖: 大さじ1/2
- 塩: 小さじ1/4
- オリーブオイル: 大さじ1
- ゆでたけのこ: 80g
- えび: 4尾
- 卵: 1個
- アスパラガス: 2本
- コンソメの素: 小さじ1
- 塩: 少々
- サラダ油: 小さじ1/4

●たけのこの旬は4～5月。最も一般的なものは「孟宗竹(モウソウチク)」の芽の部分で、主に日本と中国で食用とされているとても東洋的な食材です。栄養面から見ると、ビタミン類はとりたてで多く含んでいませんが、カリウム、食物繊維を多く含み、特に食物繊維はゴボウやれんこんなどの根菜に次ぐレベルです。たけのこをゆでた時に節の隙間に白い粒状のものがついていますが、それはチロシンというアミノ酸の一種で、たけのこの独特な味わいの元になっています。ですから取り除かずに調理しましょう。

■栄養量 (1人分) エネルギー: 436Kcal、食塩: 1.7g

作り方

- ①米は少し硬めに炊いて[A]を混ぜて冷ましておく
- ②ゆでたけのこはサイコロ状に切ってコンソメスープで煮ておく
- ③アスパラガスは塩ゆでにして一口大に切る
- ④えびは背ワタをとり塩ゆでしてから殻をむき一口大に切る
- ⑤卵は塩を入れて炒り卵にする
- ⑥①の寿司飯に②のたけのこ③のアスパラガスを混ぜる(少し飾り用に残しておく)
- ⑦⑥を器に盛り、上にえび、炒り卵、たけのこ、アスパラガスを飾る

予告

6月より「禁煙外来」が始まります!



よく「タバコを吸うと余命が短くなる」と耳にしますが、実際、タバコを吸う人は吸わない人よりも、余命が10年も短くなると言われていています。また、長年タバコを吸い続けることで、加齢を待たず、若い人も「スモーカーズフェイス」と呼ばれる特有の顔つき(目じり・口の周りの深いシワ、肌トラブル、乾燥した唇、白髪、歯や歯茎の変色、口臭など)に変化してしまいます。つまり、タバコは「健康」のみならず「美容」の大敵! でも、禁煙は自分一人ではなかなか達成できません。当院では、6月より「禁煙外来」を設け、禁煙したい皆様のサポートをさせていただきます。(詳細につきましては、別途改めて、お知らせさせていただきます) 思い立った今から禁煙! 一緒に頑張りましょう。

編集後記

新しい期となり、当院は今年も18名の新入職員を迎え、賑々しくスタートしました。一昨年より取り組み始めたCS向上委員会の活動も3年目に入り、昨年末には予てより準備をしてきた患者様満足度調査を実施、今回抜粋ではありますが、漸くこの紙面でご報告ができました。また、3月より「敷地内禁煙」をスタートしましたが、懸念していたクレーム等も全くなく、院内の清潔感もグッと増したように感じます。患者様より頂いたご意見は、嬉しいものも厳しいものも全て、今後の業務、活動の糧とし生かしていくと共に、病院内のクリーンアップにも努力し、患者様が“かかり易い”“かかりたくなる”病院づくりに頑張ってもらいます。(文書課 松井 未佳)



認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 臨床研修指定(神戸大協力型)
- 日本医療薬学会研修施設
- 薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協会NST稼働認定施設

交通のご案内

神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分
 神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑪⑩・⑫
 「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

